



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 クリナップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹内 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 川田 和弘

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	47,672	13.0	85	96.2	171	92.4	142	
2020年3月期第2四半期	54,778	9.8	2,224		2,256		1,572	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 185百万円 (87.1%) 2020年3月期第2四半期 1,436百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	3.87	
2020年3月期第2四半期	42.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	81,063	50,714	62.6	1,374.70
2020年3月期	80,106	50,898	63.5	1,379.67

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 50,714百万円 2020年3月期 50,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		10.00		10.00	20.00
2021年3月期		10.00			
2021年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	4.2	700	72.0	800	68.6	400	72.7	10.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	37,442,374 株	2020年3月期	37,442,374 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	550,940 株	2020年3月期	550,930 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	36,891,441 株	2020年3月期2Q	36,601,127 株

(注)「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期2Q 290,433株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2020年11月6日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により制限されていた経済活動の再開に伴い緩やかな回復をみせているものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

住宅設備機器業界におきましては、消費税増税後の反動減に加え新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり引き続き厳しい市場環境ではあったものの、「新しい生活様式」の普及もあり、想定より小幅な落ち込みにとどまりました。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社をいう。以下同じ。）は、2020年9月にリニューアルしたシステムキッチン「STEDIA（ステディア）」や2020年6月にリニューアルしたコンパクトキッチン「コルティ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点である全国102ヶ所のショールームにおいて、感染防止対策を綿密に講じつつ、お客様の事前来店予約を促進し、安心・安全に最新の商品を体感できるようにしております。さらに、ショールーム見学が疑似体験できる新たなWEBコンテンツ「オンラインショールーム」の準備を進めてまいりました。

また、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店等の流通パートナーと連携して『イエナカ充実フェア』等の各種イベントを開催し、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産拠点での生産性向上、VE活動を推進し、原価低減に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「CENTRO（セントロ）」は数量、金額とも減、「STEDIA（ステディア）」は数量、金額とも減、「ラクエラ」は数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比12.8%減の37,246百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においては数量増、金額減となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比16.4%減の7,160百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.0%減の47,672百万円となりました。利益面では営業利益は同96.2%減の85百万円、経常利益は同92.4%減の171百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は142百万円（前年同期は1,572百万円の純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は81,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ956百万円増加いたしました。流動資産は50,103百万円となり、1,193百万円増加いたしました。これは電子記録債権が532百万円、受取手形及び売掛金が398百万円減少した一方、現金及び預金が1,602百万円、商品及び製品が498百万円増加したこと等によります。固定資産は30,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円減少いたしました。これは、投資その他の資産が323百万円増加した一方、有形固定資産が416百万円、無形固定資産が143百万円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は30,348百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,140百万円の増加となりました。流動負債は主に、短期借入金が290百万円、電子記録債務が728百万円、未払法人税等が218百万円減少したこと等により1,326百万円減少し、22,457百万円となりました。固定負債は主に、長期借入金の増加2,764百万円等により2,467百万円増加し、7,891百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は50,714百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失142百万円、配当金の支払368百万円、その他有価証券評価差額金の増加390百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の63.5%から62.6%になりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,602百万円（8.0%）増加して21,664百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は316百万円（前年同期比91.6%減）となりました。これは、減価償却費が1,558百万円、売上債権の減少1,156百万円、雇用調整助成金の受取額125百万円があった一方、仕入債務の減少509百万円、たな卸資産の増加664百万円、新型コロナウイルス感染症による損失の支払額258百万円、法人税等の支払額357百万円があったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は719百万円（前年同期比39.7%減）となりました。これは生産設備の改修、ショールーム移転・改装等により有形固定資産の取得による支出が382百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が333百万円あったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果得られた資金は2,022百万円（前年同期は240百万円の使用）となりました。これは短期借入金の純減が2,000百万円、長期借入金の返済による支出が1,526百万円、配当金の支払が368百万円あった一方、長期借入れによる収入6,000百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、本日付けで「2021年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,561	21,164
受取手形及び売掛金	13,543	13,145
電子記録債権	11,100	10,567
有価証券	1,003	1,002
商品及び製品	1,481	1,980
仕掛品	149	191
原材料及び貯蔵品	1,052	1,049
その他	1,018	1,002
流動資産合計	48,909	50,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,970	7,799
その他(純額)	12,655	12,409
有形固定資産合計	20,625	20,208
無形固定資産		
無形固定資産	2,785	2,641
投資その他の資産		
投資有価証券	4,898	5,439
その他	3,007	2,788
貸倒引当金	△119	△118
投資その他の資産合計	7,786	8,109
固定資産合計	31,197	30,960
資産合計	80,106	81,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,868	6,087
電子記録債務	6,642	5,913
短期借入金	3,683	3,393
未払金	4,070	4,032
未払法人税等	497	279
賞与引当金	1,117	1,138
その他	1,904	1,612
流動負債合計	23,784	22,457
固定負債		
長期借入金	695	3,460
退職給付に係る負債	709	494
役員退職慰労引当金	416	416
資産除去債務	408	410
その他	3,193	3,109
固定負債合計	5,423	7,891
負債合計	29,208	30,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	24,561	24,049
自己株式	△419	△419
株主資本合計	49,760	49,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,322	1,712
為替換算調整勘定	△21	△41
退職給付に係る調整累計額	△164	△205
その他の包括利益累計額合計	1,137	1,465
純資産合計	50,898	50,714
負債純資産合計	80,106	81,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	54,778	47,672
売上原価	35,462	31,630
売上総利益	19,315	16,041
販売費及び一般管理費	17,091	15,956
営業利益	2,224	85
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	72	71
仕入割引	135	120
その他	65	89
営業外収益合計	282	290
営業外費用		
支払利息	13	14
売上割引	210	170
その他	26	19
営業外費用合計	250	204
経常利益	2,256	171
特別利益		
固定資産売却益	0	0
雇用調整助成金	—	129
特別利益合計	0	130
特別損失		
固定資産除売却損	19	31
退職特別加算金	4	—
減損損失	83	6
新型コロナウイルス感染症による損失	—	258
その他	0	—
特別損失合計	108	296
税金等調整前四半期純利益	2,148	5
法人税等	576	148
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,572	△142
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,572	△142

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,572	△142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	390
為替換算調整勘定	△22	△20
退職給付に係る調整額	△68	△41
その他の包括利益合計	△135	328
四半期包括利益	1,436	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,436	185
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,148	5
減価償却費	1,610	1,558
雇用調整助成金	—	△129
新型コロナウイルス感染症による損失	—	258
賞与引当金の増減額 (△は減少)	132	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△114	1,156
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,197	△664
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,856	△509
未払金の増減額 (△は減少)	△330	△49
その他	△264	△907
小計	3,840	738
利息及び配当金の受取額	83	81
利息の支払額	△11	△17
雇用調整助成金の受取額	—	125
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△258
法人税等の支払額	△203	△357
法人税等の還付額	52	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,762	316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△863	△382
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△308	△333
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
その他	△18	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,192	△719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,000	△2,000
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△1,786	△1,526
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△368	△368
その他	△84	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240	2,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	△16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,310	1,602
現金及び現金同等物の期首残高	17,182	20,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,492	21,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方)

新型コロナウイルス感染症の影響については、段階的に縮小しつつ2021年3月期末までは継続するものとの仮定に基づき、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

なお、合理的な予測は困難なことから当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり、新型コロナウイルス感染流行の収束遅延により影響が長期化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、翌連結会計年度以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

当社グループは、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。